

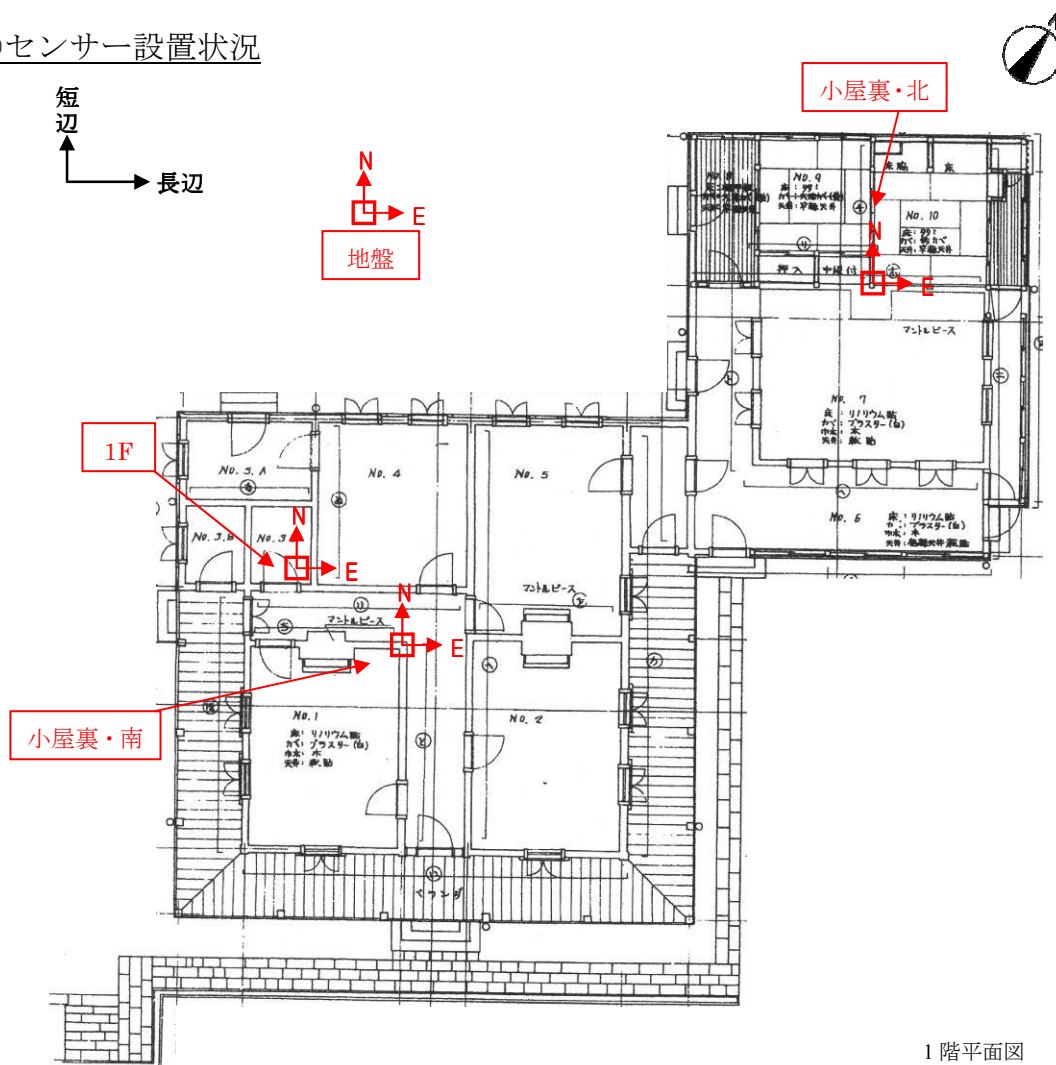
③ 長崎居留地二十五番館



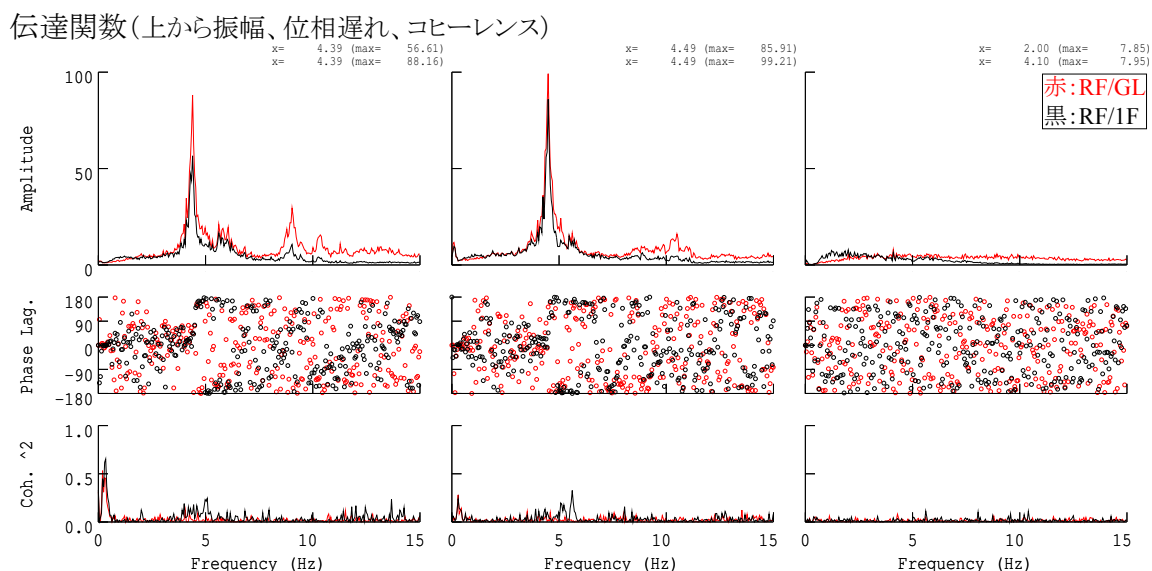
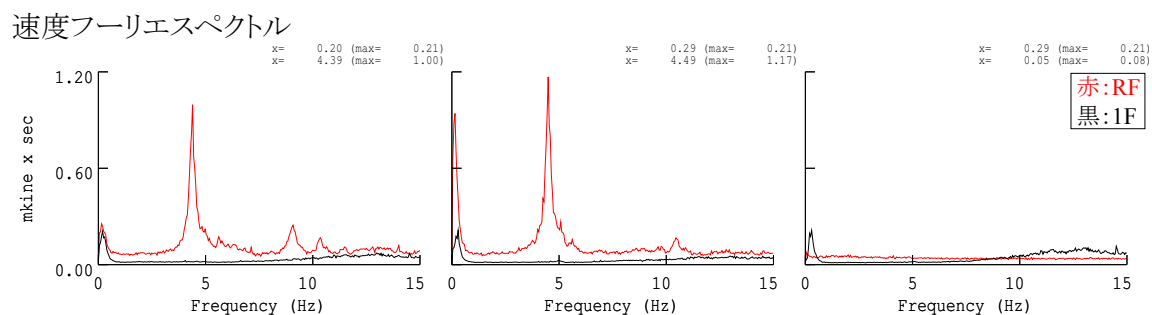
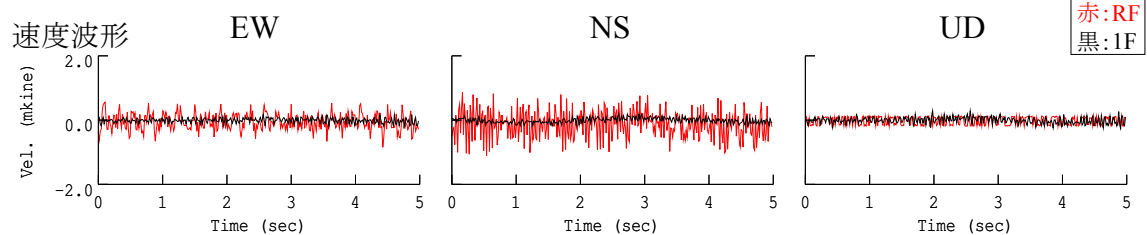
旧所在地	長崎県長崎市南山手町		
構造、階数、用途	木造、平屋建、住宅		
建築年	1889	移築年	1966
最高高さ(m)	8.85	標高(m)	112.30
建築面積(㎡)	362.80	延床面積(㎡)	362.80

- 外壁は防音・防湿のため二重板張である。
- 2つの建築物が接合した平面なので、北側と南側のそれぞれの小屋裏にセンサーを設置し、1階は南側に設置した。
- 和室もあり、より大きな空間のある北側の方が、壁の多い南側より、長周期で振動していることが確認できる。

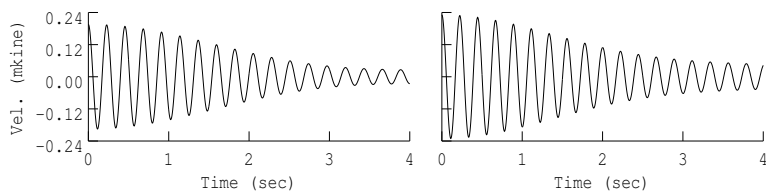
○センサー設置状況



③ 長崎居留地二十五番館 北側



RD 法による自由振動波形



□推定固有振動数

EW 4.40Hz

NS 4.50Hz

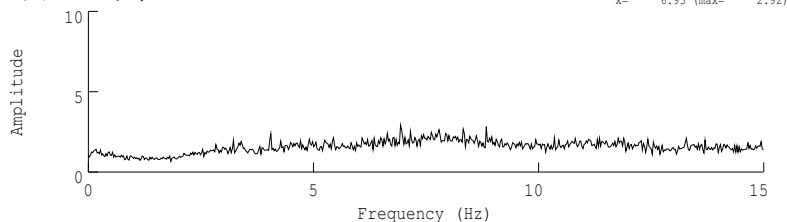
□推定減衰定数

EW 2.05%

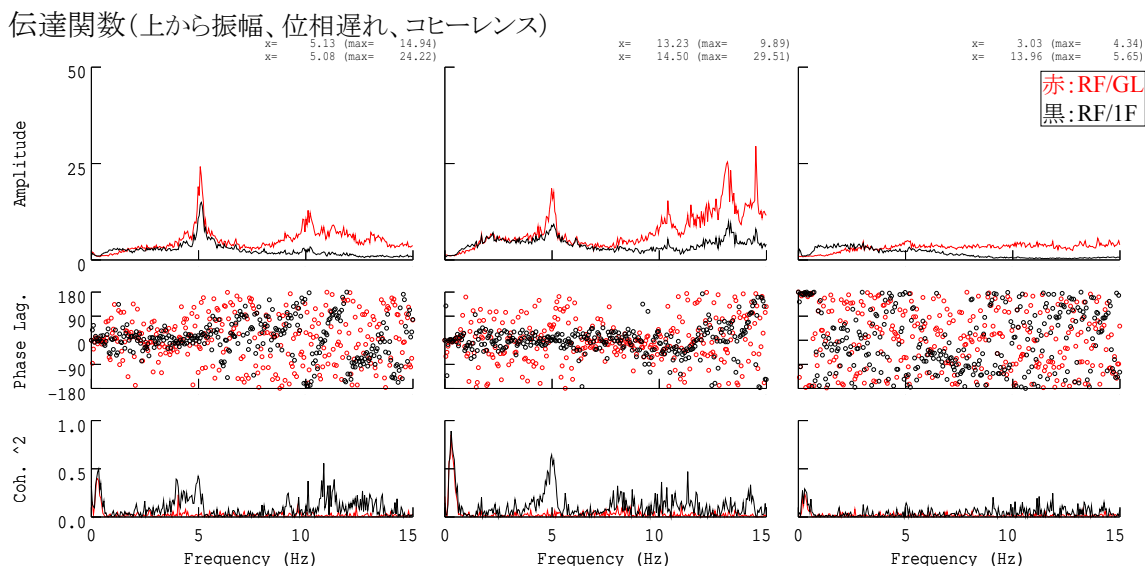
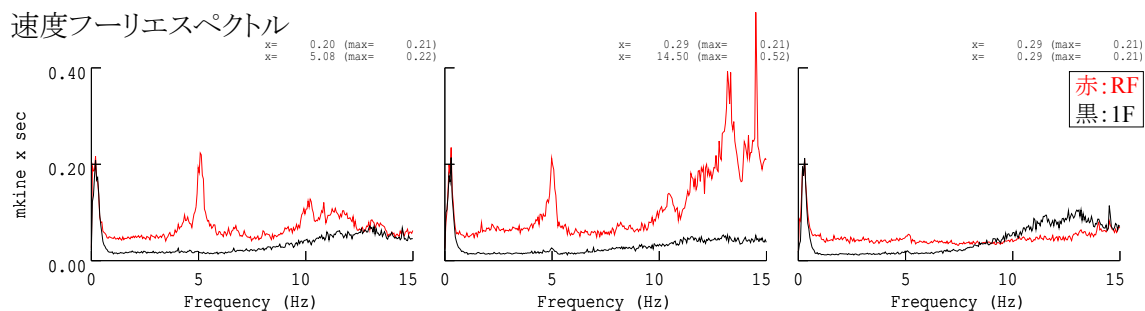
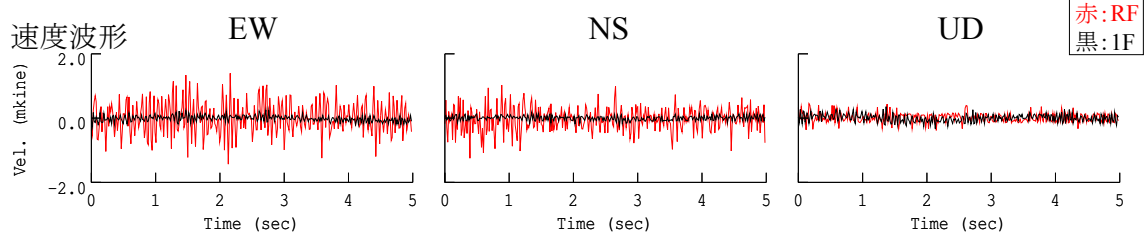
NS 2.56%

[RD 法(対数減衰率)]

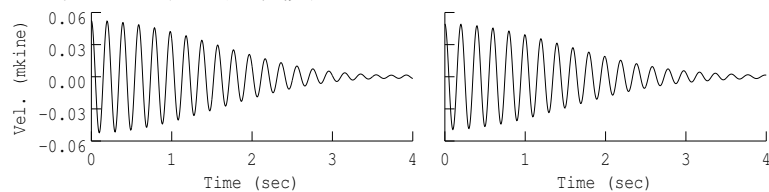
H/V スペクトル



③長崎居留地二十五番館 南側



RD 法による自由振動波形



□推定固有振動数

EW 5.12Hz

NS 5.04Hz

□推定減衰定数

EW 2.08%

NS 2.56%

[RD 法(対数減衰率)]

H/V スペクトル

